

和泉川で 自然とふれあおう！

和泉川は、旭区との境にある瀬谷市民の森付近を源流として、瀬谷区・泉区をとおり、戸塚区で境川に合流しています。

瀬谷区内では、二ツ橋～宮沢の約2.8km区間で6つの水辺（二ツ橋の水辺、宮沢ふれあい水辺、東山の水辺、関ヶ原の水辺、寺ノ脇の水辺、宮沢遊水地）が整備されており、この長い区間が水と緑で繋がっていることが一番の魅力です。

以前の和泉川は、鉄の板で仕切られたドブ川のような風景でした。また、雨が降ると水があふれ水害が多く起こっていました。

整備された今では、水がきれいになったことで多くのいきものが観測でき、子どもたちの楽しい声が聞こえ、自然の息吹を感じることができるスポットとなっています。

6つの水辺を中心とした豊かな自然にふれあいながら散策、水遊び、野鳥観察やいきものとのふれあいを楽しんでください。

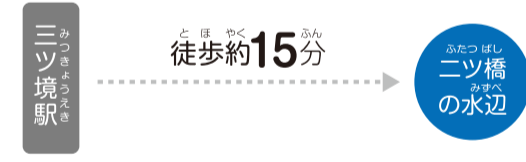
【東山の水辺】



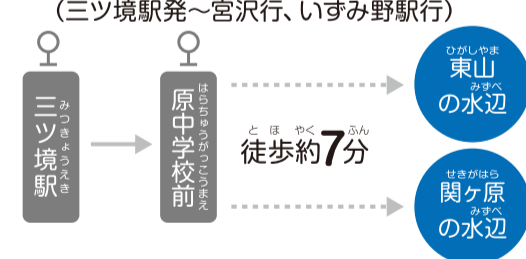
before after

和泉川へのアクセス

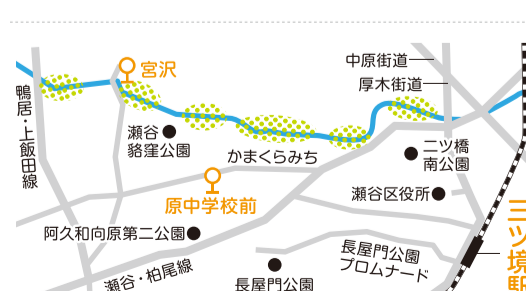
1 三ツ境駅から厚木街道沿いに、徒歩約15分



2 原中学校前バス停から徒歩約7分
(三ツ境駅発～宮沢行、いすみ野駅行)



3 宮沢バス停から徒歩約3分 (三ツ境駅発～宮沢行)



バードウォッチング

やちようかんまつ たの かがねが野鳥観察を楽しむ方々が集まるポイントです。



めがね橋
水面に映った橋と併せると、めがねの形に見えます。橋の下は日陰で涼しいです。



赤間おとなり橋
まわ おと な しほろい な ぐまづつ めづらほし 回すと音が鳴る、8種類の鳴り車が付いた珍しい橋です。

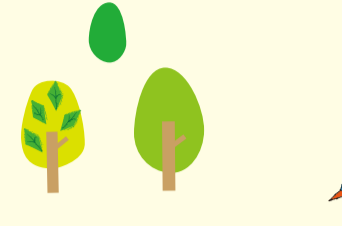


川のいたる所に、川を渡るための小さな橋（通称：もくり橋）がかかっています。川の風景に合うようなデザインとなっており、子どもたちが集まって水遊びをしています。



▲屋根つきの木製ベンチです。

いきものたちの大きさを測ってみよう！



桜並木

桜並木が続きます。春は花見を楽しむ人でいっぱいです。



▲たくさんの花が咲いています。



やすらぎ橋
橋の上にはベンチがあります。また川の中に、ゴミなどをひっかけるための木のくいが多く置かれています。

二ツ橋のアジサイ

約1,000本のアジサイが植えられています。



● 最寄駅・バス停からのアクセス
● 散歩ルート
● 水辺・遊水地
● 橋
● もくり橋
● 階段
★ ウォーキングサイン



宮沢遊水地

多くのいきものが生息する小川や池、広場があり、いきもの観察や子どもたちの遊び場として人気です。また、大雨が降った時に川があふれないよう、一時的に川の水をためておく役割もあります。めがね橋がシンボルです。



関ヶ原の水辺

水辺に接する木の種類が豊富で、さまざまな鳥が安息しており、ふるさと感じることができる憩いの場となっています。



東山の水辺

桜や梅の木が並び、春を感じる水辺です。広々とした原っぱがあり、家族連れも多く訪れています。また、東山の樹林と一体になっており、6月から7月には一面のアジサイも楽しめます。



宮沢ふれあいの水辺

イロハモミジを中心とした、秋の彩りをイメージした水辺です。区民の方々と一緒に整備内容や愛称を検討し、平成25年3月に完成しました。



二ツ橋の水辺

数多く車が通る厚木街道から一步入ると、緑いっぱい水辺が広がります。要護会の方が育てている沿路沿いの花や、休憩できるベンチが特徴です。瀬谷区制50周年を記念し、新たなアジサイの名所として約1,000本のアジサイを植樹しました。

いきものから評価した和泉川の水質



寺ノ脇の水辺

隣接する公園や森からの湧水が和泉川に流れこんでおり、水辺と緑あふれる公園とが一体となったスポットです。

フィールドマナー

自然いっぱいの和泉川を安全に楽しむためにも、ルールを守って遊びましょう。

- ゴミ袋: ゴミは必ず持ち帰りましょう。また、ポイ捨ては絶対にやめましょう。
- ペット: ペットは繋いで散歩してフンは持ち帰りましょう。
- いきもの世話: いきものをむやみに持ち帰ったり、持ち込んだりするのはやめましょう。
- 雨: 雨が降りそうになったら、すぐに川からは離れましょう。また、雨が降っているときは、川に近づかないようにしましょう。

ゴミは捨てないで！

和泉川にもゴミがたくさん落ちています。タバコの吸い殻、缶、お菓子の袋、傘、中にはマットレスや新聞まで…。水を呑むと重くなり、拾うのにも一苦労です。人が捨てるゴミで水が汚れ、いきものに悪影響を及ぼします。いきものために、また、みなさんに気持ち良く川を利用してもらうためにも、ゴミは持ち帰り、水緑たっぷりの和泉川をつくりましょう。

